



その1 12月10日「世界人権デー」12月4~10日「人権週間」

人権とは「地球上に住む全ての人々がもっている人間らしく幸福に生きるための大切な権利」のことです。お互いの人権を尊重し合えるように、今、自分に何ができるかを真剣に考えてみましょう。

幸せで穏やかな日常の中で長く生活していると、その日常を当たり前のこととして認識してしまい、時に「平和」や「人権」の尊さや大切さを見失いがちになってしまいます。しかし、今、世界で起きている現状に目を向けてみると、様々な争いや対立が生じており、多くの人々がとても厳しい状況に置かれています。特に、ウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ紛争の中では、尊いたくさんの命が傷つけられ、奪われている惨状が毎日報道されています。

私たちは世界が直面する紛争や戦争に対して、決して無関心になることなく、改めて平和を築くことの重要性を再認識する必要があると考えます。そして、それらを解決するためには「平和」と「人権」の尊重が絶対に欠かせないと思うのです。

12月10日は「世界人権デー」です。1948年に国連総会で「世界人権宣言」が採択された日を記念して制定されました。また、日本では毎年12月4~10日までを「人権週間」（人権デーを最終日とする1週間）として、人権啓発活動を行なっています。人権とは「地球上に住む全ての人々がもっている人間らしく幸福に生きるための大切な権利」のことです。

生徒のみなさんには、この「世界人権デー」・「人権週間」を機会に、お互いの人権を尊重し合えるように、改めて、今、自分に何ができるかを真剣に考えてもらいたいと思っています。

そして、生徒のみなさん一人一人が、過去の歴史から学ぶと共に、現在の課題に目を向け、多くの人々とつながりながら平和や人権を尊重し、課題を解決していくことで、明るい未来を築けることを心から願っています。



イスラエル・パレスチナ紛争 (ガザ地区の子供達)

その2 人権週間特集「いじめられる人の気持ちについて真剣に考えてみよう！」

郡中学校からいじめをなくすために…

いじめを早期発見するには、いじめられている子が誰かに相談するのが一番良い方法だと言われています。しかし、統計的には約50%の生徒達が教師や家族等に相談することができないのです。(下図①) このように、いじめられている子がまだいたいことではないと思う時は、少々心が傷ついていても「このくらい我慢しよう。」「大げさに騒ぐと、もっと大変なことになる。」と、誰にも相談せず、一人自分の胸の中にしてしまうのです。しかし、そこで終わればいいのですが、時には、そのいじめがさらにエスカレートします。そうなると、「今さら、人には言えない。」(下図②) と思い詰めて、孤立してしまうのです。

しかし、このようにいじめられる側の心理に陥った生徒がいたとしても、温かく寄り添い、手を差し伸べることができる生徒がいたならば、きっと元気を取り戻し、そして、強くなってくれると思います。郡中学校からいじめをなくすためにも、いじめられる人の気持ちについて真剣に考えてみましょう。よろしくお祈りします。参考 いじめに関する意識調査(東京都教職員教育センター)

被害者の行動



相談しなかったが
50%!!

しかし、ほんのささいなきっかけで、いじめられる子は強くなれます。たった1人でも、味方がいればいいのです。それが、1人ではなく、2人、3人と増えれば、強くなれるのです。

相談しない理由

家族に心配をかけたくない
いし返しがこわい
自分にも問題がある
弱さを笑われたくない

では、相談できない、言い返せない、いじめられる子は弱い子なのでしょうか?

それは違います。人は誰でも攻撃され続けると、「弱く」なります。つまり、いじめられる子は、弱い子ではなく、弱い立場に追い込まれている子なのです。

そして、一番弱いのは、人を攻撃することでしか自分を表現できない子、誰かを傷つけることでしか人とつながれない子だということです。

生徒のみなさんには、異なる意見や立場の人々とも、たとえ時間がかかろうとも粘り強く話し合い、たとえ同じ意見にならなくても、お互いの意見や立場を理解でき、尊重できる人になってほしいと思います。それは、目標や課題を成し遂げるため、様々な考え・立場の人々とつながり、チームを築ける人になってほしいからです。このことは、これからの時代を生きるための大切な資質・能力でもあると思います。そして、そんな生徒が増えていったとき、郡中学校から「いじめ」がなくなるのではないのでしょうか。校長より

まとめ 弱い立場に置かれた人が強くなれるための条件

- わかってくれる仲間がいるということ
- いじめはまちがっているというみんなの思い

歩みを止めない継続した学習を！

1・2年生 12月15日(金)

大村市学力調査実施！



いよいよ1・2年生にとっては大村市学力調査が目前に迫ってきました。この大村市学力調査は、東京書籍「標準学力調査」を用いて実施されます。

この大村市学力調査では、学習指導要領に示す目標に照らして、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を問う読解や記述式問題、知識・技能を活用する問題等、質の高い調査問題が提供される中で、現時点での生徒一人一人の学習の定着度や学習の課題を明確に把握することができます。そして、その結果を学年の締めくくりとなる3学期の学習、さらには次年度の学習に向けて役立てようとするものです。

現時点の学力を十分に発揮できるよう、歩みを止めない継続した学習を期待しています！



負けられない戦いがそこにある！

(時間割)	3校時	4校時	5校時
1年生	国語	数学	英語
2年生	1校時 国語	2校時 英語	3校時 数学

1・2年生のみなさんへ

確認します。みなさんの高校受験ももう始まっているのです！

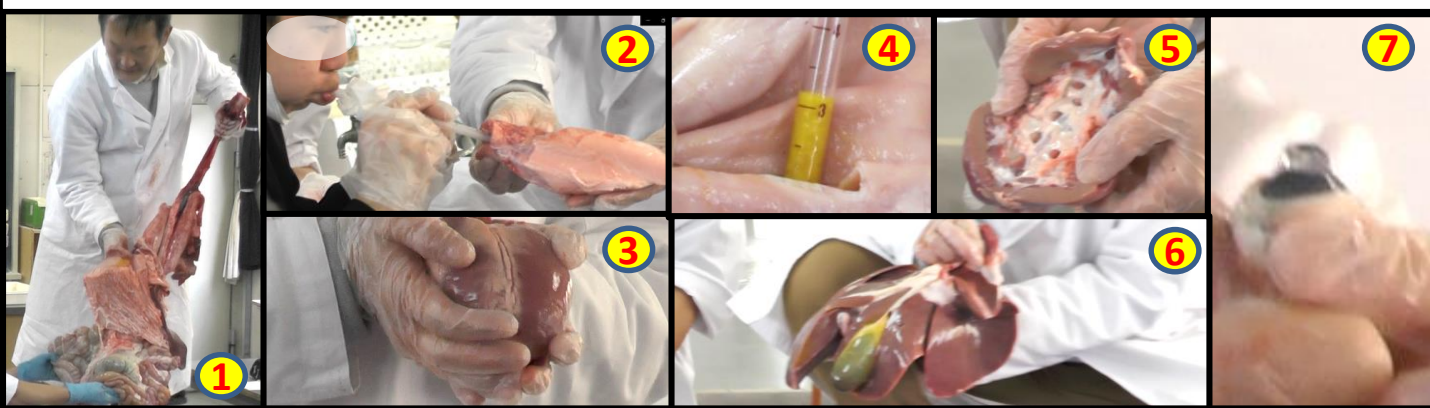
中学校から受験する高校へ送付する調査書の成績＝内申点は、各学年ごとに確定した成績の合計点として決定し、送付されます。(ちなみに、満点は評定5×9教科×3学年＝135点ということになります。) ですから、1年生で確定した成績はそのまま高校へ、当然ながら2年生で確定した成績もそのまま高校へ送付されているのです。つまり、1・2年生のみなさんの高校受験は、もう始まっているということになるのです！

2年生理科「命の授業」と題し

【公開授業】「豚の解剖」の授業を実施しました！

11月28日(火)「日本フードパッカー株式会社川棚工場」様より解剖試料として豚6頭の内臓、眼球等のご提供をいただき、2年生の全クラスで、ヒトの体のつくりについて理解を深める「豚の解剖」の授業を実施しました。当日は、指導者側の2年生理科担当教諭山口・木村、学力向上補助員川上、そして、校長松崎もしっかりとスクラムを組み、安全性・衛生面に十分に留意する中で、この貴重な機会を通して生徒達にしっかりと人体の神秘さを学んでもらえるように努めました。

確かに、指導者側も、初めて解剖に立ち会う生徒達が、豚の臓器や臭い等に困惑しないか、給食を無事に食べられるか等、大変心配していましたが、いい意味でその予想は外れてしまいました。多くの生徒達が、キラキラと目を輝かせながら授業に参加し、元気に質問に答えたり、積極的に試料をさわったりと、意欲的に解剖に取り組んでくれたことに安堵し、大変嬉しく感じた次第でした。改めて、この貴重な機会を与えていただいた「日本フードパッカー株式会社川棚工場」様に深く感謝すると共に、生徒達が人体の神秘を学ぶこの授業を通して、命の尊さや人の尊厳にも気付いてくれることを願っているところです。下記に、当日の写真や生徒達の感想を掲載しています。ご一読ください。



左から①豚の臓器全体 ②肺に呼吸を入れた様子 ③心臓 ④胃液の抽出 ⑤じん臓の内部 ⑥肝臓と胆のう ⑦眼球から抽出したレンズ

【感想】○唯一誰も作ることができない命を私達はいただいているとわかり、凄く有り難いことなのだと感じました。もっと感謝して食しようと思いました。○貴重な授業をしていただき、ありがとうございます。豚の臓器は本当に人間と同じような作りをしていて、びっくりしました。改めて「命」について考えることができました。○気管は、食道と違って太く、また丈夫に作られていた。○肺を触ったらマシュマロみたいに柔らかく、プニプニしていた。○初めて臓器を見ることができ勉強になった。理由があつての工夫した形や性質があり、改めて命や人体は凄いなと思った。○生きるために無駄なものもなく、あらゆるものに対応できるつくりになっていた。○レンズが水晶みたいでとてもきれいだった。

こんな生徒達の成長も届きました！ご紹介させていただきます。

「竹松小学校150周年行事」及び「黒丸踊法養祭」に出演
 2年 中島彩稀さん
 2年 中村愛輝さん
 1年 野里楓介さん
 1年 濱口拓真さん
 地域の伝統芸能をしっかり守りながら、素晴らしい踊りを披露してくれました。



創成館高等学校主催
 「デジタルイラストコンテスト」
 佳作「キラキラ思い出」
 1年 宮田夏帆さん

ストーリー性のある緻密な作画が高く評価されました。

